

平成14年 5月20日

報道機関 各位

広島大学総務部大学情報室長
西田良一

牟田泰三広島大学長就任1年
大学運営報告会のレジюмеについて

先にお知らせしております、明日(21日)開催の牟田泰三学長の就任1年の大学運営に関する点検・評価を含めた大学運営報告会のレジюмеを別紙のとおりお送りいたします。

【お問い合わせ先】

総務部 総務課 総務係長
仲良夫
TEL: (0824) 24-6016
(ダイヤルイン)

[発信枚数; A4版 7枚(本票含む)]

○[報告会レジюме](#)

この1年を振り返って

学長自己点検・評価報告

広島大学長
牟田泰三

1

本日の報告会の趣旨

1年間の大学運営に関する点検・評価

- 公約の確認
 - 学長就任記念講演 2001.07.31
 - 年頭にあたって 2002.01.01
- 実績の点検・評価
- 今後の展望

2

就任記念講演

2002.07.31

- 大学の使命、国立大学の果たすべき役割
- 広島大学の目指すもの
- 私の経歴、私の研究
 - グローバルな視点から見た大学改革
 - 国立大学法人化
 - 遠山プラン
 - 広島大学はどうするのか
 - 広島大学運営の基本方針
 - 「トップ30」の意味
 - 大学運営に対する考え方

年頭にあたって

2002.01.01

1. 教育の質的向上
2. 世界トップレベルの研究の育成
3. 特色ある産学官連携・地域連携の推進
4. 学内賞の創設

4

広島大学運営の基本方針

- 理念
 - 広島大学5原則を原点とし、知的文化の創造、継承、発展のために尽くし、国立大学としての責務を果たす。
- 到達目標
 - 世界トップレベルの特色ある総合研究大学を目指す。
- 戦略
 - そのためのステップとして、「国立大学法人化」並びに「大学（国立大学）の構造改革の方針」（遠山プラン）に積極的に対応する。
 - 「21世紀の広島大学像マスタープラン」を基本とする。

5

広島大学の経営戦略

広島大学という組織を、到達目標に向けて牽引していくための、総合的且つ計画的な方策

- 大学運営戦略
- 教育機能強化戦略
- 研究機能強化戦略
- 社会連携戦略
- 国際戦略
- 情報メディア戦略
- 危機管理戦略
- 支援組織との連携

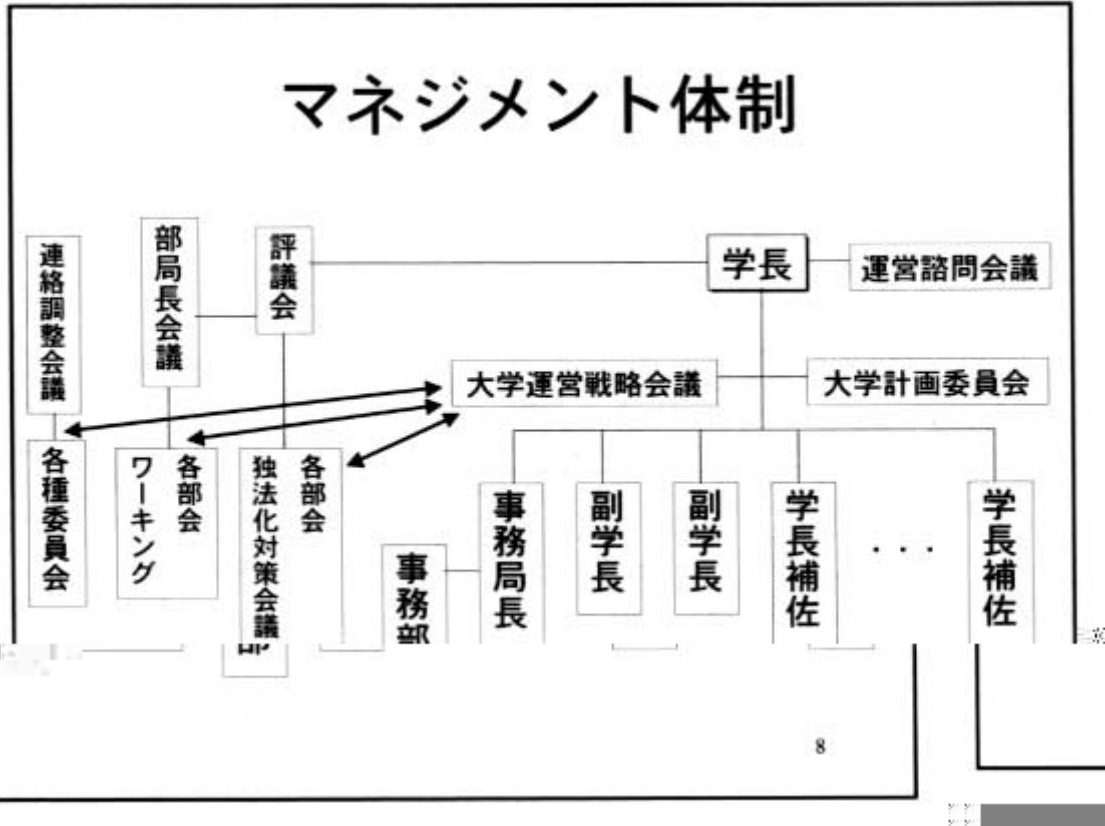
6

大学運営戦略

トップマネジメント体制の整備

- 学長を中心とした運営機能の強化
 - 学長、副学長、学長補佐、事務局長
→ 大学運営戦略会議
大学運営戦略会議設置済み 活動中
 - 大学運営戦略会議と各部会・委員会等との連携
クロスファンクショナルな機能の重視
 - 大学計画委員会 ⇔ 学長
ランチタイムミーティング方式を採用
 - 運営諮問会議による助言・提言
評価に関する助言
- 学外との協調連携
 - 中国地区国立大学長懇談会の提案・実施（6月12日4回目）
 - 中国経済産業局長、中経連会長との懇談
→ 地域産学官連携サミット等
 - NEC広島との組織的共同研究開始
 - 広島県との連携 県教委と協力した高大連携授業の実施
 - 東広島地域との連携 市との協力

7



大学運営戦略会議

- 中長期目標WG
- 再編統合WG
- 研究計画WG
- TLO設立準備WG
- 社会連携検討WG

9

評議会

- 組織部会 A、B
- 人事部会
- 財政部会
- 教育プログラム部会
- 独立行政法人化対策会議

10

教育機能強化戦略

- 教養的教育の再点検
 - 教養的教育委員会の強化再編
教養教育企画室設置
- 専門的教育の見直し・改善
- 大学院教育の見直し・改善
 - 大学計画委員会
教育の質的向上を目指して（仮称）

入学者選抜方法（仮称）

研究機能強化戦略

- 実績ある基盤的研究の支援育成
 - 予算配分上の配慮
- 競争的資金への取り組み
 - 研究計画WG（仮称）
研究計画WG設置 活動中
- 研究所・センター等の整備・統合・再編・新設
 - 組織部会B
組織部会B設置済
- 研究組織の再編成・新設・廃止
 - ← 公正な評価に基づく
21世紀COEへの対応

12

社会連携戦略

- 社会貢献担当学長補佐
- 地域との連携強化
 - 地域との連携
 - 学生のボランティア活動
 - 地元住民との共同作業
 - キャンパスツアーの実施
 - 行政等との連携
 - 中国

国際戦略

- 世界規模での大学改革の進行
 - 広島大学としての国際戦略の観点が必要
- 広島大学の国際化
 - 留学生数の増大、外国人研究者数の増大
 - 国際会議、研究交流等国際交流活動の活発化
 - 国際センター（仮称）の必要性
 - 国際交流支援室（10月頃設置予定）
 - 海外大学調査研究
 - 大学間協定の見直し・拡大
 - 新規協定大幅増
 - 協定校への表敬訪問 学長2回
 - その他代表訪問 数件

情報メディア戦略

- 広島大学情報メディア化の基本方針
 - 検討中
 - IT担当学長補佐
- 双方向授業、遠隔授業、図書館情報化推進
 - 教養的教育授業・高大連携授業・夜間主コース授業への
双方向授業の活用推進
 - ⇒ 附属図書館
電子ジャーナルの導入
 - ⇒ 情報メディア教育研究センター
デジタルアーカイブ計画スタート

15

危機管理戦略

- 危機管理担当学長補佐
- 縦の連絡体制の整備・円滑化
- 危機管理マニュアルの作成
 - 附属病院におけるマニュアル整備
- 経営リスクへの対処
- ハラスメントへの対処と予防策の検討
 - 調査会制度
 - 全学調査WG（仮称）設置
大学院生アンケート調査
- 危機管理保険

16

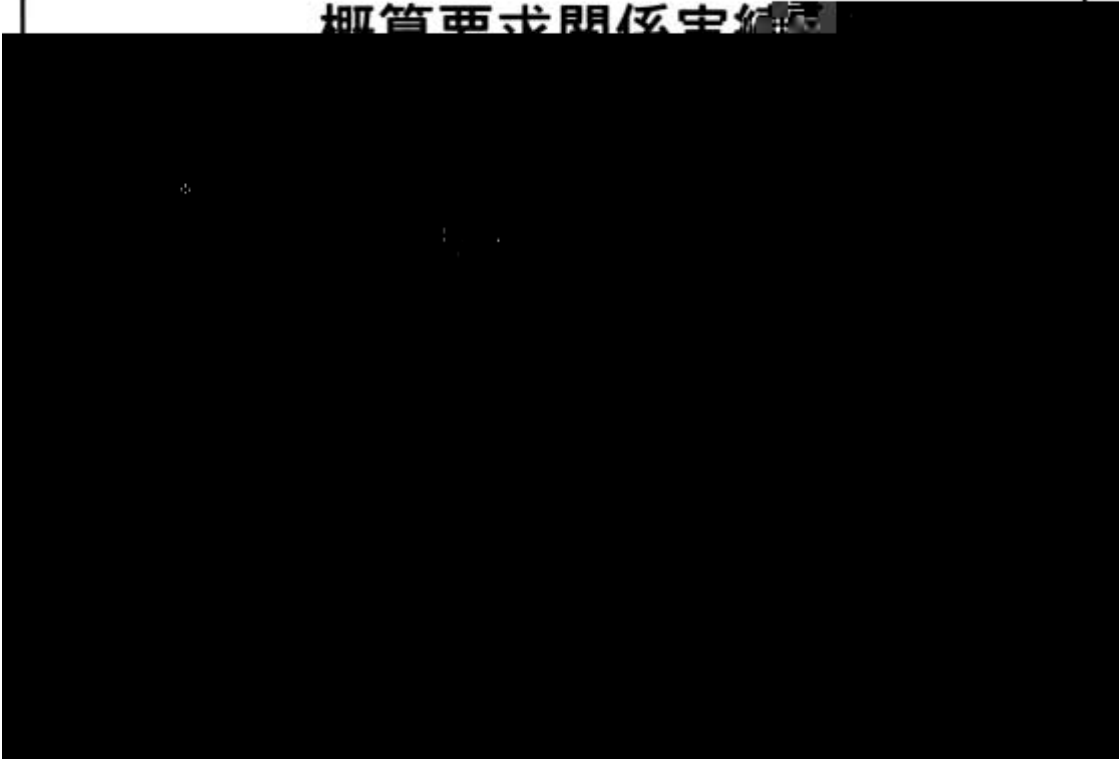
支援組織との連携

- 広島大学後援会の強化
- 同窓会の整備
 - 新卒者の入会状況改善
 - 同窓生メールアドレス

公約のまとめと1年間の対応

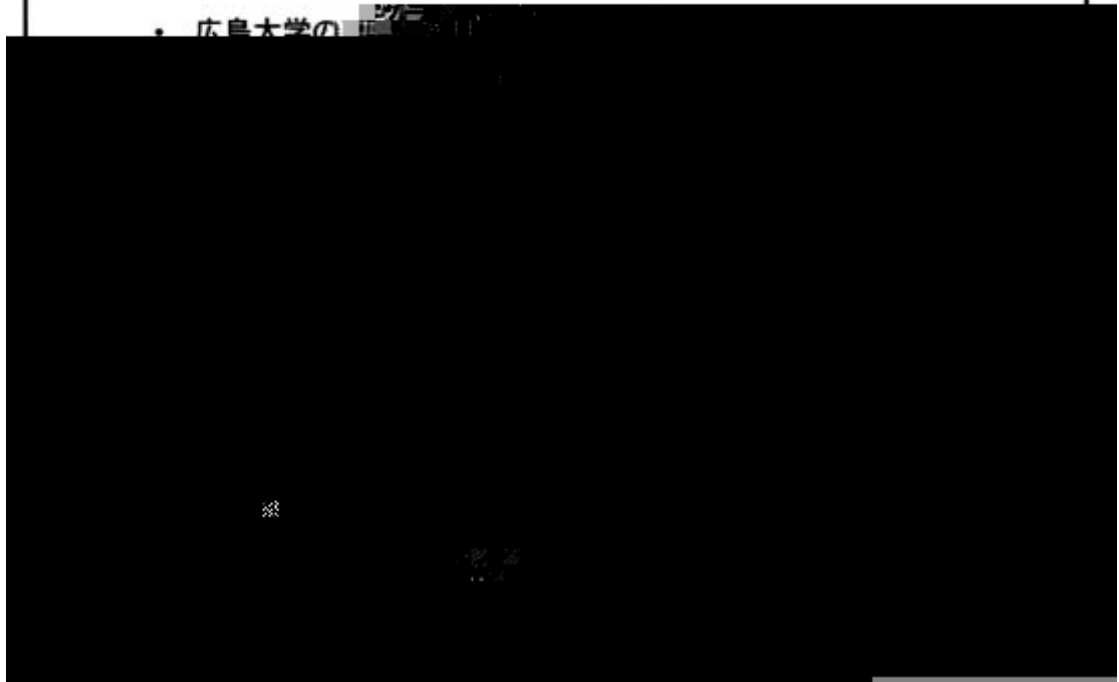
- トップマネジメント体制の整備
 - 大学運営戦略会議の設置・運営
 - 企画立案機能整備 (Cross-functional 機能)
 - 中国地区国立大学
 - 教育研究活動の活性化
- 21世紀COE (トップ30) への積極的対応
 - 教養教育企画室の創設
 - 県教委との協力による高大連携授業の開始
 - 学術顧問制度の創設 (第一号) 小和田恒氏
 - 客員教授制度の活用
- 社会貢献
 - 社会貢献担当学長補佐の設置
 - 産学官連携サミットなど
 - 産学連携など
- 危機管理体制の整備
 - 危機管理担当学長補佐の設置
 - 大学院生アンケート調査の実施準備
- 情報開示・説明責任
 - ムダ、メールマガジンの創刊
- 車路

概要要求関係まとめ



今後の検討課題

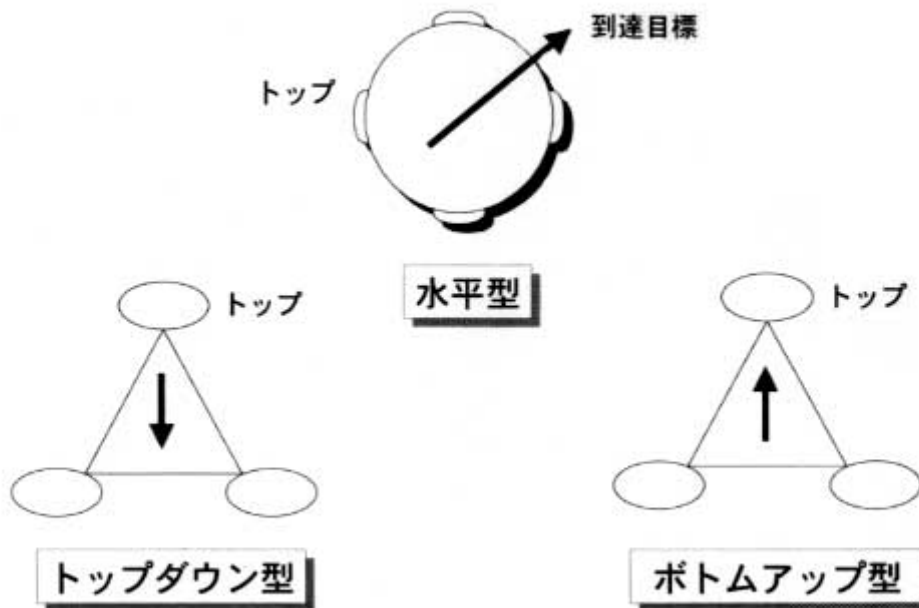
・ 広島大学の...



※

組織運営に関する新しい潮流

- 民主的ボトムアップ型組織運営
 - 民意を反映、安全確実
 - 独創性開発に不適
 - 迅速性の欠如
 - 組織硬直の危険性有り
 - トップの役割 : 意見調整取りまとめ
- ピラミッド的トップダウン型組織運営
 - 民意の反映には不適、安全確実性の不足
 - 独創性開発に適
 - 迅速性有り
 - 組織硬直、下部組織不活性の危険性有り
 - トップの役割 : 情報管理と指揮命令
- 水平型組織運営
 - 理念・到達目標を原点とする
 - トップから下部組織まで全ての、到達目標に対するeffectivenessを評価



大学運営に対する考え方

リーダーシップに対する私の見解

人々が、自らの能力が十分に活かされていると感じるような環境を醸成し、ある目標を達成すべく人々を結集させる力

変革期の学長の役割

信頼に基づくリーダーシップ

洞察力、先見性、決断力、構想力

情報共有・意志疎通の一方法

ムタメールマガジン計画

登録した方へ、同窓生へ、外部の方へも

23

ご意見・ご提言を

gakucho@bur.hiroshima-u.ac.jp

24